

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 20 日現在

機関番号：15401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25501006

研究課題名(和文) 観光景観画像に対する中国在住中国人被験者の心理的評価構造モデルの構築

研究課題名(英文) Structural model of psychological evaluation for sightseeing scenes by Chinese subjects living in China

研究代表者

西名 大作(Nishina, Daisaku)

広島大学・工学(系)研究科(研究院)・教授

研究者番号：60208197

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：訪日外国人旅行者が選好する観光資源の発掘，整備に資するため，中国在住の訪日旅行潜在層等を対象に，広島県の観光景観画像を呈示する心理的評価実験を行い，共分散構造分析を用いた構造モデルを被験者群ごとに構築した。日本在住の中国人留学生と中国在住の中国人学生の比較から，「日本らしさの有無」が間接的に訪問意欲を喚起させる傾向が前者において認められ，日本での知識・情報の獲得が影響することを把握した。また，中国学生と一般市民では，構造は概ね共通するが，経験豊富な後者で，固有性をより重視する傾向がうかがえた。さらに，文字情報の付与による影響を検討し，情報付与によって訪問意欲の喚起されることを示した。

研究成果の概要(英文)：To obtain the basic data for increase of Chinese tourists who come to Japan in the future, psychological experiments were carried out. In the experiments, Chinese foreign students in Japan, Chinese students and Chinese ordinary employees in China were asked to evaluate 40 sightseeing scenes in Hiroshima prefecture. According to the results of SEM of each subjects group, in Chinese foreign students, "Likeness of Japan" had influence on "Intention to visit to Japan." Therefore, the effect of knowledge and information of Japan was confirmed. Also, Chinese employees made much account of "Inherency" in the evaluation of intention compared with Chinese students, because the employees had more experience of foreign countries than students. However, based on the results of experiments with textual data as the explanation of each scene, it was shown that the addition of data raised the evaluation for many scenes.

研究分野：建築環境・設備

キーワード：観光 景観 評価構造 訪日意欲 共分散構造分析 中国 観光情報 国際研究者交流

1. 研究開始当初の背景

近年、日本における国内外からの観光客の旅行ニーズの多様化によって、従来は観光地ではなかった地域でも観光地化が進んでおり、それは地方都市における地域活性化にもつながっている。しかしながら、日本国内の旅行者数は少子高齢化や人口減少によって頭打ち状態にあり、さらなる観光客増加を図るためには訪日外国人観光客の獲得が重要であると考えられる。

これまで国や各地方自治体の様々な観光施策により、訪日観光客数は1000万人以上に増加しているが、その訪問先は東京や大阪等の大都市に集中しており、広島をはじめとする地方都市の注目度は未だに高いとは言えない。また、韓国や中国等の東アジア諸国から訪日観光客全体の大きな割合を占めることから、広島へのさらなる訪日観光客誘致を図るためには、これら東アジア諸国、特に中国からの観光客増加が有効であると考えられる。

2. 研究の目的

そこで本研究では、様々な想定される観光客の旅行目的の中から「景観」に着目し、異なる文化的背景においてこれまでの視覚体験により形成される、日本人とは異なる中国人の景観への興味や関心の特徴を明らかにする。具体的な目的を下記に示す。

(1) 中国在住の中国人学生、広島県在住の日本人学生、中国人留学生を被験者として、広島県の観光景観画像に対する心理的評価実験を行い、各被験者グループの評価傾向並びに評価構造を明らかにする。

ここで、留学生は広島地域に在住していることから、居住地周辺への興味や関心を有し、広島の名所や観光地を既に多く訪問していることが予想される。観光景観の評価にはそのような経験による影響が現れやすいと想定されるため、中国人留学生と中国人学生の結果を比較することにより、これら影響についても検討する。

(2) 中国在住の中国人一般市民を被験者として、同様な実験を行い、上述した中国在住の中国人学生の評価構造と比較し、その異同を整理する。前者は現時点、後者は将来の訪日旅行潜在層と位置づけられるが、生活経験の蓄積が異なることから、観光景観の評価にも顕れることが予想される、学生とは異なる考え方や価値観による影響について検討する。

(3) 観光景観の評価には、これまでの経験や知識による影響の少ないことが、(1)、(2)を通して予見されることから、観光景観が示す施設や場所、地域に関する文字情報(説明文)を付与した上で、その景観に対する評価を求める実験を、中国在住の中国人学生に対して行い、上述した中国人学生による評価と比較し、情報付与による影響を明らかにする。

3. 研究の方法

呈示する観光景観画像としては、多様性と一般性を確保するため広島県観光ホームページ内のフォトギャラリー中に掲載されていた全778観光景観画像をKJ法により34グループに分類し、各グループ1枚を選出した上で、さらに比較対象として適切と判断された6枚を追加し、最終的に40枚とした。ただし、(3)については実験時間の増加による被験者の疲労を配慮し、32枚に削減した。

また、(3)で観光景観と共に呈示する文字情報としては、上述したホームページの日本人向け観光情報のほか、種々の文献・資料等から収集した情報を6種のカテゴリに整理し、さらに景観からは想起しがたいと考えられる内容を各景観3種ずつ選定した。

各景観に対する評価項目としては、総体的な評価として、「訪問希望の有無」や「関心の有無」、「日本らしさの有無」、「母国らしさの有無」の4項目、SD法によるイメージ評価13形容詞対を選定した。また、これまでの旅行経験や日本に対する知識、関心、性別や年齢等の個人特性に関する項目を、フェイスシートとして用意した。

(1)の被験者としては、広島大学在籍の日本人学生127名、広島大学留学中の中国人留学生90名、大連理工大学並びに大連民族学院在学中の中国人学生94名を、(2)の一般市民としては、建築開発会社社員23名、不動産会社社員20名、大連民族学院教職員15名、計58名を、(3)の文字情報を付与した実験には、大連理工大学並びに大連民族学院在学中の中国人学生83名をそれぞれ用いた。

実験はいずれも諸注意の後、フェイスシートへの回答を求め、観光景観を1枚ずつ呈示し評価を求めるという手順としたが、(3)においては、まずある景観に対する文字情報のみを呈示して評価を求め、その後その景観を呈示し文字情報と合わせた評価を求めた。

4. 研究成果

(1)については、40枚の観光景観評価において、日本人学生、中国人留学生、中国在住中国人学生のいずれも概ね共通した傾向がみられたが、中国人留学生は中国人学生と比較して、広島市を代表する伝統的景観や馴染みのある人工的景観の評価が高く、日本在住経験の影響が認められた。

また、共分散構造分析による評価構造を各被験者グループ間で比較した結果、訪問意欲が喚起されるプロセスや、「日本らしさの有無」、潜在変数として設定した「選好度」に影響する項目が異なることを把握した。特に中国人留学生では「日本らしさの有無」が間接的に訪問意欲を喚起させる項目であることから、中国人学生にも「日本らしさの有無」を認識させることにより、訪問意欲向上の可能性が示された。

(2)については、「日本らしさの有無」において、中国人学生に比べ中国人一般市民の評価が幾つかの伝統的景観において高く、また、

日本らしい景観に訪問意欲や関心がより喚起される傾向がみられた。また、イメージ評価の抽出4因子のうち、「訪問希望の有無」の影響要因として「固有性」と「開放性」が挙げられたが、市民では前者の、学生では後者の影響が比較的大きいことを把握した。

さらに、多母集団同時分析を適用した結果、潜在変数である「選好度」への影響は「固有性」が最大で、市民と学生で共通するものの、市民と比べ学生は「開放性」による影響も認められること、同じく潜在変数の「日本の特徴」に及ぼす各因子の影響が、学生より市民で強く、特に「固有性」で顕著であることから、市民は景観に含まれる要素や日本の特徴について学生より認識していることが予想され、「固有性」を介して訪問意欲を喚起する可能性が示唆された。

最後に、(3)については、文字情報のみの場合と、それに景観呈示を加えた場合、景観呈示のみの場合の3者を比較したが、文字情報のみで最も評価の高い景観が多く、景観呈示のみで最も評価の高い景観は少ない傾向が得られた。

また、景観呈示のみの場合と比較して文字情報を付与した場合の方が、「日本らしさの有無」と「訪問希望の有無」との関連は向上し、「日本らしさの有無」と「母国らしさの有無」との関連は低下する傾向が認められ、日本らしさに関する理解が深化したことによるものと推察された。

以上の結果から、日本人は低く評価するものの中国人は高く評価するといった、単純な観光景観資源は、少なくとも広島県内から発見するのは困難であることを把握した。しかしながらその一方で、珍しく特徴のある事物への関心によって訪問意欲が喚起され、日本らしさがそれに該当する可能性があること、それには知識や経験が必要であり、それを文字情報によって補える可能性があることも推察された。

今後は観光景観から被験者が認識する固有性と日本の特徴との異同について、被験者の知識・経験レベルごとに詳細に検討することにより、中国人訪日旅行潜在層に対する観光景観のより魅力的な呈示方法が確立されることを期待したい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計13件)

1. 高岸英子, 西名大作, 吉原俊朗, 川瀬康太, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 中国人訪日旅行潜在層を被験者として, 日本建築学会環境系論文集, 第81巻, 第726号, 査読有, 2016年, 印刷中

2. 金華, 西名大作, 高岸英子, 陸偉, 田中貴宏, 吉原俊朗, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 そ

の10 文字情報による心理的評価の比較, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第39巻, 査読無, 2016年, pp.513-516

3. 高岸英子, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その11 訪問希望の評価への影響要因, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第39巻, 査読無, 2016年, pp.517-520

4. 吉原俊朗, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 川瀬康太, 高岸英子, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その6 文字情報付与による影響, 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1分冊, 査読無, 2015年, pp.17-18

5. 高岸英子, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その7 文字情報と心理的評価との関連, 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1分冊, 査読無, 2015年, pp.19-20

6. 川瀬康太, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 高岸英子, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その8 中国人一般市民の評価構造, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第38巻, 査読無, 2015年, pp.445-448

7. 高岸英子, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その9 文字情報付与による影響, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第38巻, 査読無, 2015年, pp.449-452

8. 川瀬康太, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 中国人学生・中国人留学生・日本人学生を被験者として, 日本建築学会環境系論文集, 第80巻, 第708号, 査読有, 2015年, pp.381-388

9. Yoshihara Toshiro, Nishina Daisaku, Tanaka Takahiro, Kawase Kota, Miyaji Yuki and Mukai Yasuhiro, Study on the Comparison among the Psychological Evaluation for the Sightseeing Scenes by Japanese, Korean and Chinese Subjects, Proceedings of the 11th International Symposium on Environment-Behavior Studies, Vol. 11, 査読有, 2014年, pp.125-131

10. 吉原俊朗, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その4 中国在住の中国人学生被験者による評価結果, 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1分冊, 査読無, 2014年, pp.133-134

11. 川瀬康太, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その5 被験者グループ間における評価構造比較, 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1分冊, 査読

無, 2014年, pp.135-136

12. 川瀬康太, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その7 中国人一般市民による評価結果, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第37巻, 査読無, 2014年, pp.417-420

13. 川瀬康太, 西名大作, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その3 日本人被験者による実験概要と評価結果, 日本建築学会大会学術講演梗概集, D-1分冊, 査読無, 2013年, pp.5-6

〔学会発表〕(計14件)

1. 金華, 西名大作, 高岸英子, 陸偉, 田中貴宏, 吉原俊朗, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その10 文字情報による心理的評価の比較, 日本建築学会中国支部研究発表会, 2016年3月6日, 広島県東広島市

2. 高岸英子, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その11 訪問希望の評価への影響要因, 日本建築学会中国支部研究発表会, 2016年3月6日, 広島県東広島市

3. 吉原俊朗, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 川瀬康太, 高岸英子, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その6 文字情報付与による影響, 日本建築学会大会学術講演会, 2015年9月4~6日, 神奈川県平塚市

4. 高岸英子, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その7 文字情報と心理的評価との関連, 日本建築学会大会学術講演会, 2015年9月4~6日, 神奈川県平塚市

5. 高岸英子, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する中国人による心理的評価に文字情報の付与が及ぼす影響に関する研究, 人間・環境学会大会, 2015年5月16日, 埼玉県朝霞市

6. 川瀬康太, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 高岸英子, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その8 中国人一般市民の評価構造, 日本建築学会中国支部研究発表会, 2015年3月8日, 鳥取県米子市

7. 高岸英子, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その9 文字情報付与による影響, 日本建築学会中国支部研究発表会, 2015年3月8日, 鳥取県米子市

8. Yoshihara Toshiro, Nishina Daisaku, Tanaka Takahiro, Kawase Kota, Miyaji Yuki and Mukai Yasuhiro, Study on the

Comparison among the Psychological Evaluation for the Sightseeing Scenes by Japanese, Korean and Chinese Subjects, 11th International Symposium on Environment-Behavior Studies, 7-8, Nov 2014, Guangzhou (China)

9. 吉原俊朗, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 川瀬康太, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その4 中国在住の中国人学生被験者による評価結果, 日本建築学会大会学術講演会, 2014年9月12~14日, 兵庫県神戸市

10. 川瀬康太, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その5 被験者グループ間における評価構造比較, 日本建築学会大会学術講演会, 2014年9月12~14日, 兵庫県神戸市

11. 川瀬康太, 西名大作, 陸偉, 金華, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その7 中国人一般市民による評価結果, 日本建築学会中国支部研究発表会, 2014年3月2日, 広島県東広島市

12. 川瀬康太, 西名大作, 田中貴宏, 吉原俊朗, 広島県の観光景観画像に対する心理的評価に関する研究 その3 日本人被験者による実験概要と評価結果, 日本建築学会大会学術講演会, 2013年8月30日~9月1日, 北海道札幌市

13. Nishina Daisaku, Tanaka Takahiro, Yoshihara Toshiro, Miyaji Yuki and Mukai Yasuhiro Comparative study of the psychological evaluation for the sightseeing scenes by Japanese, Korean and Chinese subjects, 日本地球惑星科学連合大会, 2013年5月19~24日, 千葉県千葉市

14. 川瀬康太, 西名大作, 田中貴宏, 吉原俊朗, 中国在住の中国人学生を被験者とした広島県の観光景観に対する心理的評価に関する研究, 人間・環境学会大会, 2013年5月18日, 東京都足立区

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西名 大作 (NISHINA DAISAKU)

広島大学・大学院工学研究院・教授

研究者番号: 60208197